



## 2021年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年7月12日

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド  
 コード番号 9720 URL <https://www.hotel-newgrand.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 原 信造

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 岸 晴記

TEL 045-681-1841

四半期報告書提出予定日 2021年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年11月期第2四半期の業績(2020年12月1日～2021年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	1,498	2.4	417		307		362	
2020年11月期第2四半期	1,536	38.7	429		397		747	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	306.87	
2020年11月期第2四半期	634.51	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年11月期第2四半期	7,526	1,518	20.2	1,285.62
2020年11月期	7,876	1,870	23.7	1,586.56

(参考)自己資本 2021年11月期第2四半期 1,518百万円 2020年11月期 1,870百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期		0.00		0.00	0.00
2021年11月期		0.00			
2021年11月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年11月期の業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,316	8.3	670		694		696		589.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年11月期2Q	1,181,448 株	2020年11月期	1,179,199 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2021年11月期2Q	336 株	2020年11月期	316 株
-------------	-------	-----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年11月期2Q	1,179,841 株	2020年11月期2Q	1,177,327 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年12月1日～2021年5月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大を受け、緊急事態宣言の再発令、まん延防止等重点措置の適用により厳しい経済状況となりました。国際経済につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、米中対立の継続等、世界経済及び日本経済を更に下振れさせるリスクが懸念されております。

当社におきましては、2021年4月20日に日本政府より発令されたまん延防止等重点措置を受け、レストランにおける営業時間短縮と酒類の提供停止をしておりました。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間の売上高は、1,498,784千円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、1,459,770千円(前年同四半期比2.9%減)となりました。営業損失は417,135千円(前年同四半期は429,636千円の営業損失)、経常損失は307,670千円(前年同四半期は397,985千円の経常損失)となりました。

また、当第2四半期累計期間の四半期純損失は362,058千円(前年同四半期は747,025千円の四半期純損失)となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強くなり、売上高が多く計上される傾向があります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### (ホテル事業)

ホテル事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,472,254千円(前年同四半期比2.4%減)、営業損失436,189千円(前年同四半期は448,049千円の営業損失)となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門357,812千円(前年同四半期比13.9%減)、レストラン部門509,716千円(前年同四半期比19.2%増)、宴会部門465,211千円(前年同四半期比15.4%減)となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高26,529千円(前年同四半期比2.8%減)、営業利益19,053千円(前年同四半期比3.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の分析

##### (資産)

資産合計は7,526,653千円(前事業年度末比350,299千円減)となりました。

主な要因は売掛金60,915千円の減少や未収消費税等37,372千円の減少、有形固定資産205,478千円の減少、投資その他の資産40,479千円の減少などです。

##### (負債)

負債合計は6,008,197千円(前事業年度末比1,612千円増)となりました。

主な要因は買掛金77,861千円の減少や短期借入金900,000千円の減少、1年内返済予定の長期借入金96,000千円の増加、未払消費税等23,463千円の増加、前受金29,147千円の増加、長期借入金856,000千円の増加などです。

##### (純資産)

純資産合計は1,518,455千円(前事業年度末比351,911千円減)となりました。

主な要因は四半期純損失362,058千円や、その他有価証券評価差額金2,123千円の増加などです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ26,856千円減少し、515,575千円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は113,959千円(前年同四半期は646,013千円の減少)となりました。これは主に、税引前四半期純損失360,835千円、減価償却費149,438千円、仕入債務の減少額77,861

千円、営業債権の減少額60,915千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の増加は46,777千円(前年同四半期は77,546千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入63,430千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は40,325千円(前年同四半期は748,400千円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の純減額900,000千円、長期借入れによる収入990,000千円などによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間において概ね計画通り推移しているため、2021年4月12日に公表しました「2021年11月期 第1四半期決算短信[日本基準] (非連結)」から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	542,432	515,575
売掛金	273,558	212,642
原材料及び貯蔵品	96,331	104,251
未収還付法人税等	3,305	-
未収消費税等	37,372	-
その他	42,179	59,778
貸倒引当金	△50	△40
流動資産合計	995,128	892,208
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,690,756	7,690,756
減価償却累計額	△4,719,296	△4,772,055
建物(純額)	2,971,459	2,918,700
建物附属設備	5,678,841	5,681,620
減価償却累計額	△4,704,654	△4,759,436
建物附属設備(純額)	974,186	922,184
土地	2,523,845	2,460,415
その他	1,969,582	1,972,773
減価償却累計額	△1,760,134	△1,800,612
その他(純額)	209,447	172,160
有形固定資産合計	6,678,940	6,473,461
無形固定資産	56,616	55,196
投資その他の資産	146,267	105,787
固定資産合計	6,881,823	6,634,445
資産合計	7,876,952	7,526,653
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	285,716	207,855
短期借入金	2,050,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	445,000	541,000
未払費用	213,032	202,296
未払法人税等	2,447	10,780
未払消費税等	-	23,463
未払事業所税	15,592	7,672
前受金	141,242	170,389
引当金	5,527	3,683
その他	78,172	76,388
流動負債合計	3,236,731	2,393,529
固定負債		
長期借入金	1,050,000	1,906,000
長期末払金	24,100	24,100
再評価に係る繰延税金負債	503,998	503,998
退職給付引当金	897,016	899,881
長期預り保証金	286,508	273,114
その他	8,230	7,574
固定負債合計	2,769,853	3,614,668
負債合計	6,006,585	6,008,197

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,011,878	2,016,151
資本剰余金	260,796	264,619
利益剰余金	△1,095,337	△1,457,396
自己株式	△966	△1,039
株主資本合計	1,176,370	822,334
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	-	2,123
土地再評価差額金	693,996	693,996
評価・換算差額等合計	693,996	696,120
純資産合計	1,870,367	1,518,455
負債純資産合計	7,876,952	7,526,653

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年12月1日 至2021年5月31日)
売上高	1,536,185	1,498,784
売上原価	462,087	456,149
売上総利益	1,074,097	1,042,634
販売費及び一般管理費	1,503,734	1,459,770
営業損失(△)	△429,636	△417,135
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,710	1,812
雇用調整助成金	-	※1 55,395
補償金収入	-	※2 42,104
受取協力金	-	※3 27,248
受取保険金	36,554	3,684
その他	76	3,442
営業外収益合計	38,342	133,687
営業外費用		
支払利息	6,626	14,154
支払手数料	-	10,000
その他	66	68
営業外費用合計	6,692	24,222
経常損失(△)	△397,985	△307,670
特別損失		
固定資産除却損	-	10
減損損失	※4 200,748	-
投資有価証券評価損	41,811	53,154
臨時休業による損失	※5 105,255	-
特別損失合計	347,815	53,164
税引前四半期純損失(△)	△745,801	△360,835
法人税、住民税及び事業税	1,223	1,223
法人税等合計	1,223	1,223
四半期純損失(△)	△747,025	△362,058

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△745,801	△360,835
減価償却費	134,898	149,438
固定資産除却損	-	10
減損損失	200,748	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	41,811	53,154
臨時休業による損失	105,255	-
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,165	2,865
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△90	△10
受取利息及び受取配当金	△1,710	△1,812
支払利息	6,626	14,154
支払手数料	-	10,000
雇用調整助成金	-	△55,395
補償金収入	-	△42,104
受取協力金	-	△27,248
受取保険金	△36,555	△3,684
営業債権の増減額 (△は増加)	305,062	60,915
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,755	△7,920
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△8,039	37,372
未収還付法人税等の増減額 (△は増加)	-	3,305
仕入債務の増減額 (△は減少)	△331,729	△77,861
未払費用の増減額 (△は減少)	△166,390	△10,760
前受金の増減額 (△は減少)	△81,374	29,147
未払金の増減額 (△は減少)	23,354	△3,026
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△70,649	23,463
その他	△19,057	△9,619
小計	△633,230	△216,451
利息及び配当金の受取額	1,710	1,810
利息の支払額	△3,668	△11,620
雇用調整助成金の受取額	-	48,162
補償金収入の受取額	-	39,392
受取協力金の受取額	-	25,000
保険金の受取額	36,555	2,194
臨時休業による損失の支払額	△44,933	-
法人税等の支払額	△2,447	△2,447
営業活動によるキャッシュ・フロー	△646,013	△113,959
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△65,314	△6,633
有形固定資産の売却による収入	-	63,430
無形固定資産の取得による支出	△12,232	-
差入保証金の差入による支出	-	△10,019
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,546	46,777
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	750,000	△900,000
長期借入れによる収入	-	990,000
長期借入金の返済による支出	-	△48,000
自己株式の取得による支出	-	△73
その他	△1,599	△1,601
財務活動によるキャッシュ・フロー	748,400	40,325
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	24,839	△26,856
現金及び現金同等物の期首残高	381,375	542,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	406,215	515,575

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い2021年1月8日に再発令された緊急事態宣言は2021年3月21日に全面解除されましたが、2021年4月20日にまん延防止等重点措置が発令され、引き続き一時的な需要低下が予測され、当社は、翌四半期以降、徐々に持ち直し2023年11月期に収束に向かうと仮定して会計上の見積り(固定資産の減損損失の検討等)及び継続企業の前題に係る資金繰りの検討を実施しております。

なお、当該見積りは現時点での最善の見積りであるものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であることから、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合、上記の見積りの結果に影響し、翌四半期以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期損益計算書関係)

※1 雇用調整助成金

前第2四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金であります。

※2 補償金収入

前第2四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

G o T o トラベル事務局から事業者に対して支払われるG o T o トラベル事業の一時停止等の措置に係る旅行代金の補償額であります。

※3 受取協力金

前第2四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う神奈川県からの感染拡大防止協力金等であります。

※4 減損損失

前第2四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

当社は以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類
横浜市中区	ホテル事業	建物、建物附属設備、工具、器具及び備品、建設仮勘定等

当社は、原則として、他の資産又は資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位によって資産のグルーピングを行っており、重要な処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

営業活動から生じる損益が継続してマイナスであることから、帳簿価額を全額回収できる可能性が低いと判断した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(200,748千円)として特別損失に計上しました。その内訳は、建物118,520千円、建物附属設備47,059千円、工具、器具及び備品8,714千円、建設仮勘定26,452千円であります。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価基準に基づく、鑑定評価額を使用しております。

当第2四半期累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

該当事項はありません。

※5 臨時休業による損失

前第2四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、お客様と従業員の安心・安全確保の観点から4月29日から5月31日までの間、ホテル全館の営業を休業いたしました。

このため、休業期間中に発生した固定費(人件費・減価償却費など)105,255千円を臨時休業による損失として特別損失に計上しております。

当第2四半期累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,508,879	27,306	1,536,185	-	1,536,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,508,879	27,306	1,536,185	-	1,536,185
セグメント利益又は損失(△)	△448,049	18,413	△429,636	-	△429,636

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
減損損失	200,748	-	200,748	-	200,748

II 当第2四半期累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,472,254	26,529	1,498,784	-	1,498,784
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,472,254	26,529	1,498,784	-	1,498,784
セグメント利益又は損失(△)	△436,189	19,053	△417,135	-	△417,135

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について)

当社は、2021年7月12日開催の取締役会において、2021年9月10日開催予定の臨時株主総会に、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について付議することを決議いたしました。

1. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、現在生じている繰越利益剰余金の欠損額を填補し、財務体質の健全化を図るとともに、今後の柔軟かつ機動的な資本政策の展開を可能とするため、会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに会社法第452条の規定に基づく剰余金の処分を行うことといたしました。

なお、本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、当社の純資産額に変動はなく、業績に与える影響はございません。

2. 資本金の額の減少の内容

(1) 減少する資本金の額

資本金2,016,151千円のうち、1,916,151千円を減少し、100,000千円といたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額1,916,151千円の全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

3. 資本準備金の額の減少の内容

(1) 減少する資本準備金の額

資本準備金の額14,257千円を全額減少いたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

減少する資本準備金の全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

4. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、資本金の額の減少及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、資本金の額の減少によって増加したその他資本剰余金を減少して、繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填に充当いたします。

なお、当該振替後の繰越利益剰余金の残高は0円となります。

(1) 減少する剰余金の項目及びその金額

その他資本剰余金 1,095,337千円

(2) 増加する剰余金の項目及びその金額

繰越利益剰余金 1,095,337千円

5. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の日程

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| (1) 取締役会決議日     | 2021年7月12日 |
| (2) 債権者異議申述公告日  | 2021年7月28日 |
| (3) 債権者異議申述最終期日 | 2021年8月30日 |
| (4) 臨時株主総会決議日   | 2021年9月10日 |
| (5) 効力発生日       | 2021年9月10日 |

(固定資産の譲渡及び賃借について)

当社は、2021年7月12日開催の取締役会において、下記の通り保有する不動産を譲渡及び賃借することを決議いたしました。

1. 譲渡及び賃借の理由

経営資源の有効活用と財務体質の向上を図るため実施するものであります。

2. 相手会社の概要

名称：SMFLみらいパートナーズ株式会社

所在地：東京都千代田区大手町一丁目5番1号

代表者の役職・氏名：代表取締役社長 寺田達朗

※当社との間に、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はありません。

3. 譲渡及び賃借資産の概要

譲渡及び賃借資産の種類、用途：ホテルタワー館底地

所在地：横浜市中区山下町9番地

土地面積：1,432.92㎡

4. 譲渡及び賃借の日程

2021年9月下旬予定

※賃借期間は賃借開始日より30年間を予定しております。

5. 譲渡価額等

譲渡価額：3,100,000千円

帳簿価額：1,710,000千円